



西田井駐在所 だより

令和7年8月号
真岡警察署 西田井駐在所
0285-84-0614

栃木県内の山岳遭難発生状況

○ 令和6年中の山岳遭難発生状況

- ・ 令和6年中は、58件63人（うち7人死亡）の山岳遭難が発生しました。
- ・ 年齢層別では40歳以上の方が8割強、態様別では、転倒、道迷い、滑落の3類型で8割強を占めています。
- ・ 遭難者の多くが登山計画書を提出していませんでした。



○ 夏山登山における遭難の特徴

- ・ 7月から8月の夏山シーズンは、8件8人が遭難し、原因は転倒、滑落、道迷い、病気（腰痛）でした。
- ・ 夏山は軽装で入山する方が増加するため、滑落や転倒をした際に大きな怪我につながる、急な雨で体が冷えて低体温症になる、気温の上昇により熱中症になるなどのケースが増加します。

山岳遭難を防止するポイント

○ 登山する前に

- ・ 登山する山の特徴や登山ルートをよく調べ、自身の経験・技術・体力に見合った山を選び、日暮れ前に下山できるよう無理のない計画を立てましょう。
- ・ コンパスやヤママップ、ヤマレコを活用して登山計画書を提出するとともに家族等に登山の予定日時やルートを知らせておきましょう。
- ・ 麓の天気だけでなく、山頂付近の天気も確認し、悪天候場合や体調不良時は、山に入るのを控えてください。
- ・ 日帰り登山でも、登山地図や雨具、保温着、非常食、照明具、ツェルト（簡易テント）、携帯電話の予備バッテリー等も携行しましょう。
- ・ 単独登山は控え、複数人で登山しましょう。
- ・ 熊との遭遇を避けるため、熊鈴等も携行しましょう。



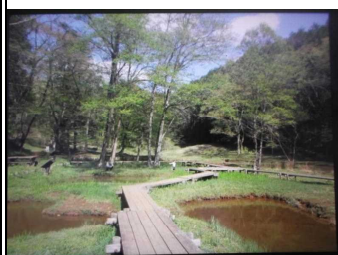
コンパス



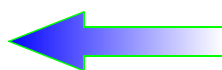
ヤママップ



ヤマレコ



※西田井駐在所管内にも根本山（標高165メートル）があります。そこまで高くない山ですが、準備を万全にして楽しく・安全に登山してください。



根本山の写真